

評価基準表「100cmをこえる長さ」

単元の評価規準	次	観点・方法	十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	支援を要する(C)	
<p><本単元のねらい> 長さの比較や測定などの活動を通して、長さの概念や測定、およびその単位についての理解を深める。</p> <p>【算数への関心・意欲・態度】 任意単位で長さを測定する活動を通して、長さをより便利に正確に表そうとし、普遍単位を用いることよき気づく。 測定する対象の大きさを目的に応じて、適切な単位やものさしを選択しようとし、実際にものさしなどを用いてすすんで長さを測定しようとする。</p> <p>【数学的な考え方】 普遍単位を用いて、長さの大きさの表し方を考える。 必要に応じて、1つの単位から別の新しい単位を考えることができる。</p> <p>【数量や図形についての表現・処理】 「m」を単位とし、身の回りの具体物の長さを測定することができる。 測定するものに応じて、適切な単位を選ぶことができる。</p> <p>【数量や図形についての知識・理解】 長さの単位(m)と測定の意味について理解する。 長さの単位を理解する。 長さの単位の間接関係を理解する。 ものさしの目盛りの仕組みについて理解する 1mがどのくらいの長さであるか、身の回りにあるものの大きさをもとにしてとらえるなど、長さの大きさについての豊かな感覚をもつ。</p>	第1時 課題設定	(関心・意欲・態度) 発言 ノートの記述	<ul style="list-style-type: none"> ・100cmをこえる長さを既習の学習をもとに、大きな単位で調べようという課題をつかんでいる。 ・両手を広げた長さを工夫して測ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・100cmをこえる長さには大きな単位があることを知り、調べていこうとしている。 ・両手を広げた長さを測ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長いものの長さを表す際、大きな単位があると便利であることに気付かせる。 ・教師や友達の支援で両手を広げた長さを測ることができる。 	
	第2時 mの定義と単位換算	(知識・理解) 行動観察 ノートの記述	<ul style="list-style-type: none"> ・mの単位を知り、mとcmの相互の関係を理解している。 ・自分のひろや身長を測ることを通して、1mの見当づけができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・mの単位を知り、cmをmに、mをcmに換算することができる。 ・自分のひろや身長を測ることを通して、自分の体のどのくらいが1mか捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達の支援で1m=100cmの換算ができるようにする。 ・教師や友達の支援で1mが自分の体のどれくらいかを測ることができる。 	
	第3時 1mものさしによる測定	(関心・意欲・態度) 行動観察 発言 (表現・処理) 行動観察 ノートの記述	<ul style="list-style-type: none"> ・教室だけでなく身の回りの1mを超えていそうな物を見つけて測ろうとしている。 ・1mの見当をつけ、測りたいものに応じて30cmものさしや1mものさしを使って正確に測ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の中の物を測ろうとしている。 ・自分の体のものさしをもとに1mの見当をつけ、1mものさしで測りたい物の長さを測ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と一緒に物を測るようにする。 ・測りたい物に30cmものさしや1mものさしを当てさせ、どちらが適しているか考えさせて測るようにする。 	
		自己診断テスト		・正答率90%以上	・正答率70%以上	・正答率70%未満
	第4時 長さづくり	(関心・意欲・態度) 行動観察 発言 (表現・処理) 自作のものさし 行動観察	<ul style="list-style-type: none"> ・1メートルの長さを予想して自分なりに工夫して作ることができる。 ・自分の作りたい長さのテープものさし(1m、2m、3m)に印や目盛りをつけながら作り上げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1メートルの長さを予想して自分の力で作ることができる。 ・自分の作りたい長さのテープものさしの中に印や目盛りをつけながら作り上げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を行いながら1mの長さを作ることができる。 ・自分の作りたい長さのテープものさしの中に印や目盛りがあると便利にことに気付かせ、作成することができる。 	
	第5時 単位換算と単位選択の確かめ	かいけつコース (表現処理) 行動観察 ノート (知識理解) ノート 練習問題	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物の長さに合った計器を選択して予想を立て測ることができる。 ・必要に応じ単位選択をしたり、長さ比べをしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物の長さを予想して測ることができる。 ・必要に応じ単位選択をしたり、長さ比べをしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の支援で、身の回りの物の長さを予想して測ることができる。 ・教師の支援で単位選択をしたり、長さ比べをしたりすることができる。 	
	ハッスルコース (表現処理) 行動観察 ノート (考え方) ノート 発言	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物の長さを、自分の選んだものさしでいくつも測ることができる。 ・測ったものをもとに、ながさの違いを進んで計算して解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物の長さを、自分の選んだものさしで測ることができる。 ・測ったものをもとに、長さの違いを計算して解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の支援で、身の回りの物の長さを測ることができる。 ・教師の支援で、測ったものをもとに、長さの違いを計算して解くことができる。 		
第6時 学習活動の評価	テスト		<ul style="list-style-type: none"> ・正答率90%以上 ・学習全体について自己評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正答率70%以上 ・学習全体について自己評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正答率70%未満 ・教師の支援により学習全体についての自己評価ができる。 	